LONG TERM GOOD RELATION
いちよし証券

2018年3月期　決算説明会

いちよし証券株式会社
執行役社長
小林　稔
2018年5月23日（水）

Ⅰ：決算・業績の状況

2018年3月期決算（連結）

１．２０１８年３月期 決算サマリー（連結）

ICHIYOSHI SECURITIES

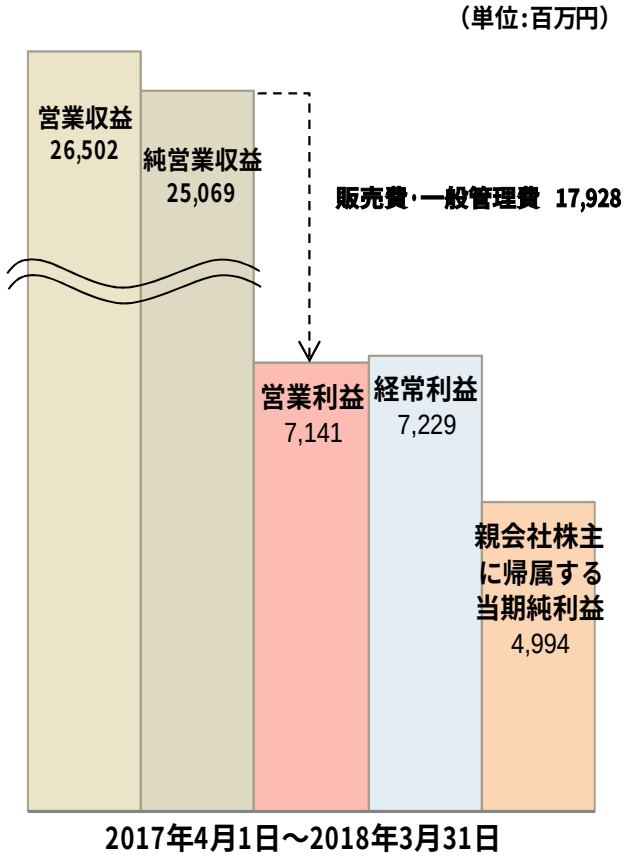
◆ 営業収益は、前期比57億8,700万円（27.9%）増加の265億200万円

◆ 経常利益は、前期比41億5,100万円（134.9%）増加の72億2,900万円

◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比28億1,100万円（128.8%）増加の49億9,400万円

（単位：百万円）

	2017年3月期	2018年3月期	前期比増減率	前期比増減額
営業収益	20,714	26,502	27.9%	5,787
純営業収益	19,338	25,069	29.6%	5,730
販売費・一般管理費	16,344	17,928	9.7%	1,583
営業利益	2,994	7,141	138.5%	4,147
経常利益	3,077	7,229	134.9%	4,151
特別損益	▲22	▲56	—	▲33
法人税等	853	2,156	152.7%	1,303
親会社株主に帰属する当期純利益	2,183	4,994	128.8%	2,811



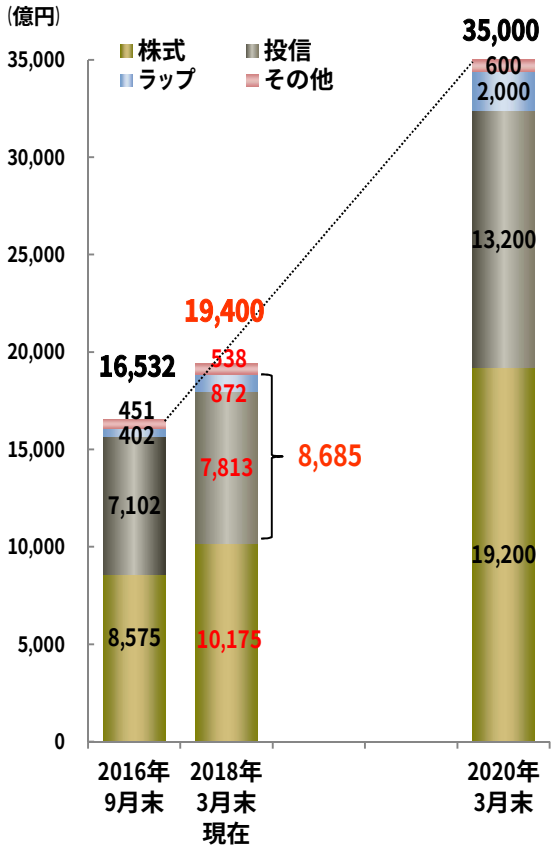
２．中期経営計画目標の進捗状況

2016.9		2018.3		2020.3	
預り資産	16,532	預り資産	19,400	預り資産	35,000
株式	8,575	株式	10,175	株式	19,200
投信	7,102	投信	7,813	投信	13,200
ラップ	402	ラップ	872	ラップ	2,000
債券（その他）	451	債券（その他）	538	債券（その他）	600
ROE	6.6%（2017年3月期第2Q累計年率換算）	ROE	14.5%（2018年3月期）	ROE	15%以上
主幹事	44社	主幹事	50社	主幹事	70社

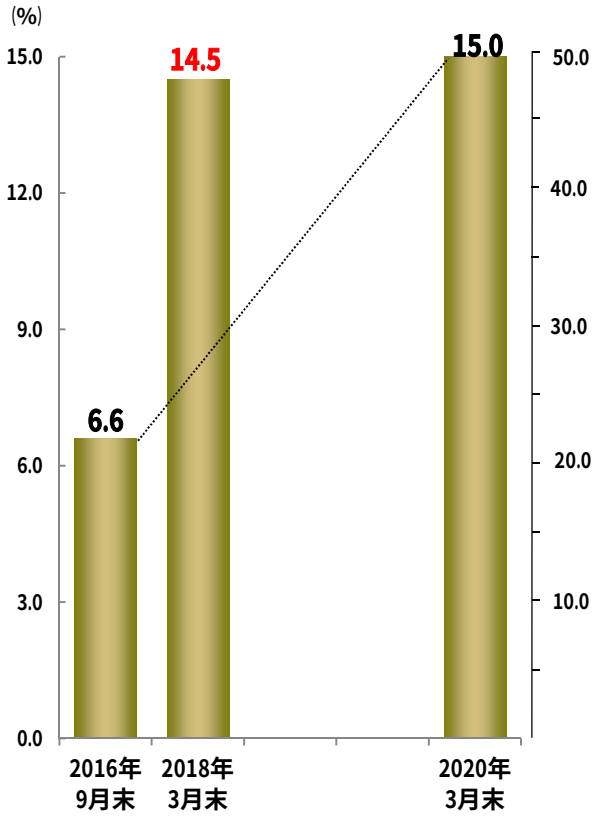
（単位：億円）

18ヶ月 / 42ヶ月 の進捗状況

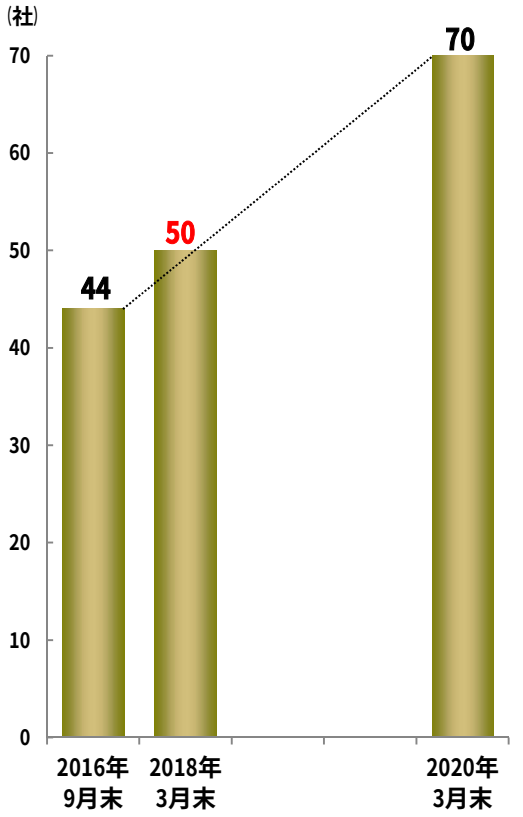
預り資産



ROE

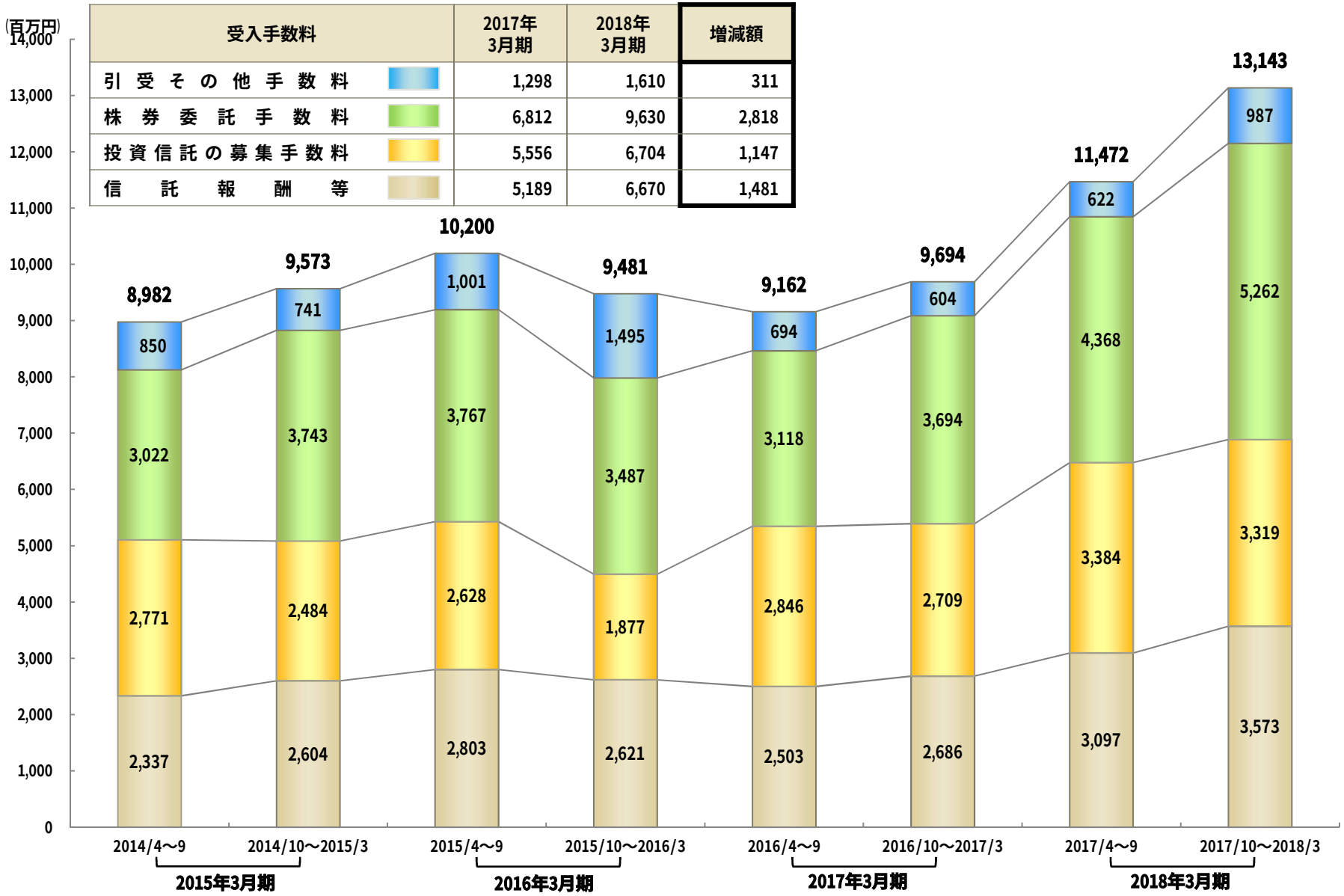


主幹事会社数



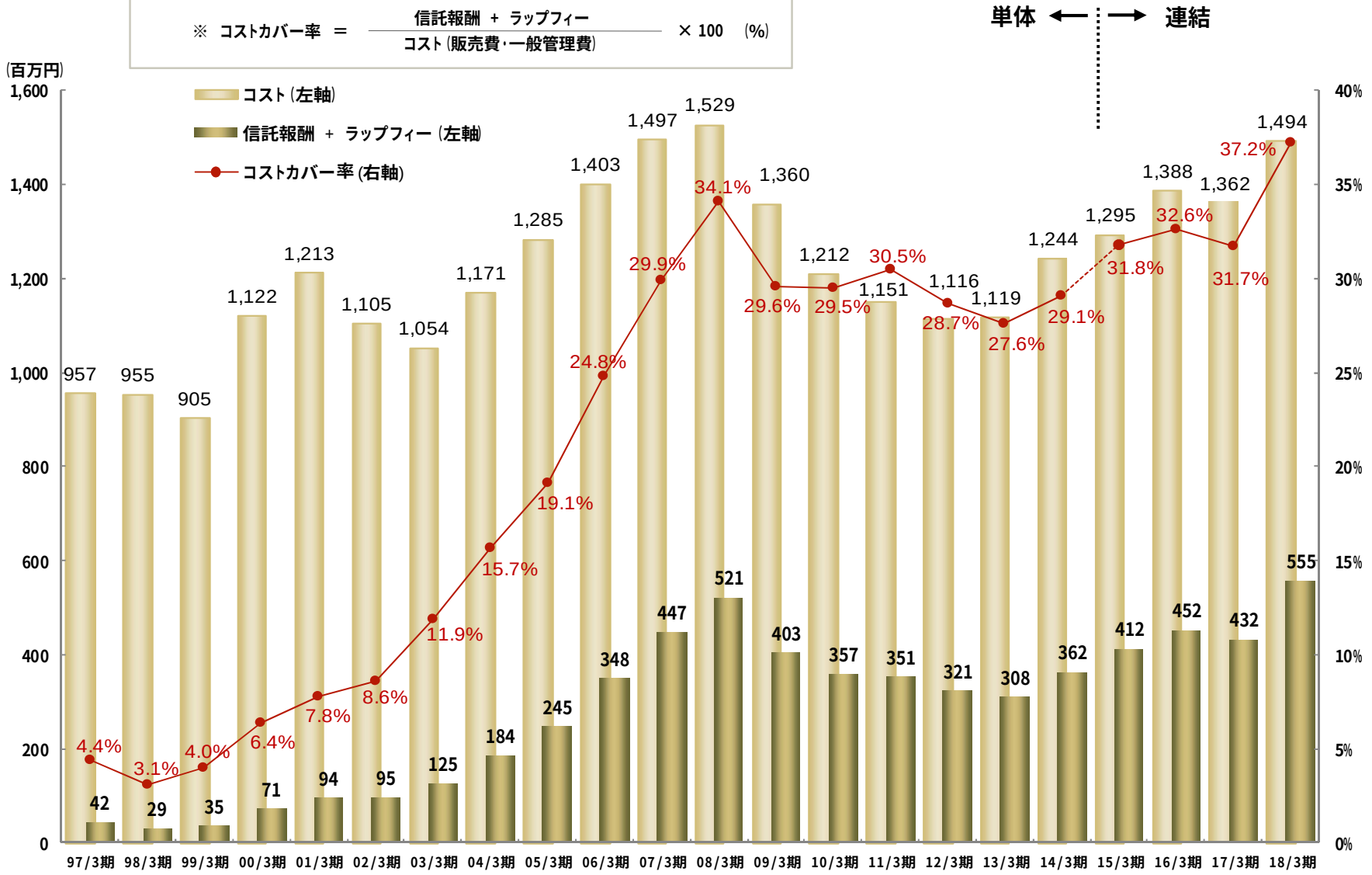
３．受入手数料の推移

受入手数料	2017年3月期	2018年3月期	増減額
引受その他手数料	1,298	1,610	311
株券委託手数料	6,812	9,630	2,818
投資信託の募集手数料	5,556	6,704	1,147
信託報酬等	5,189	6,670	1,481



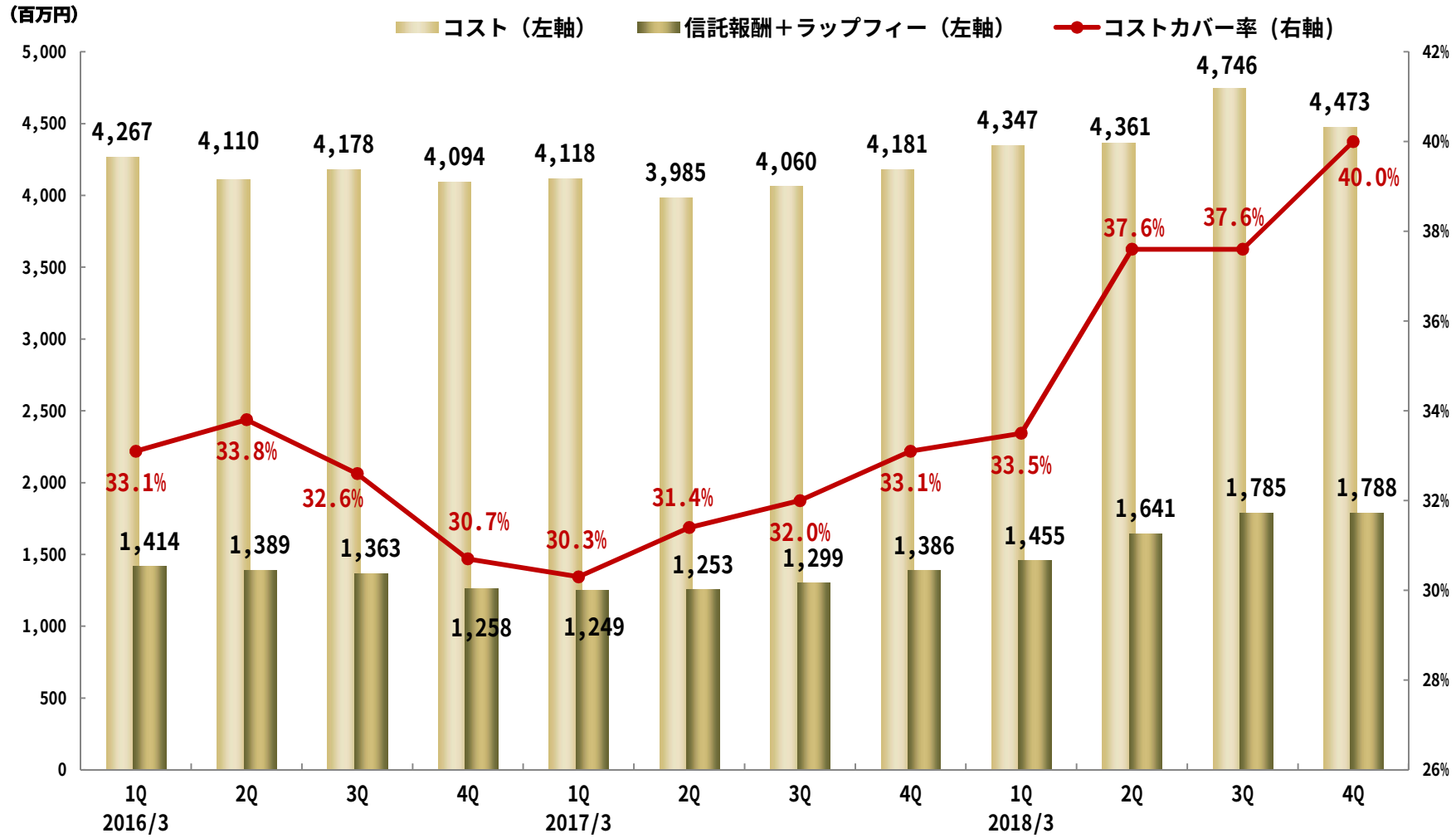
4．コストカバー率（月額平均）の推移

※ コストカバー率 ＝ （信託報酬 ＋ ラップフィー） / （コスト（販売費・一般管理費）） × 100 （%）



４．コストカバー率（四半期）の推移

※ コストカバー率 ＝ $\frac{\text{信託報酬 ＋ ラップフィー}}{\text{コスト（販売費・一般管理費）}} \times 100$ （%）



II：今後の経営戦略

２０１９年３月期の主な取組み

1 中期経営計画達成に向けた「預り資産」の拡大

2 「トライアングル・ピラミッド経営」による
シナジー効果

3 コーポレート・ガバンナスの強化充実

１．中期経営計画達成に向けた「預り資産」の拡大

個人富裕層、地域金融機関に加えて、地域の優良法人を重要な開拓先として預り資産の拡大に取り組む

個人富裕層

「守る･使う･増やす」を基本コンセプトに預り資産を拡大

地域の優良法人

手元資金が豊富な優良法人（オーナー、役員含む）の運用ニーズに応える

地域金融機関

「プロ私募」の外交提案強化

１．中期経営計画達成に向けた「預り資産」の拡大

個人富裕層 ～「守る・使う・増やす」を基本コンセプトとした提案外交で預り資産を拡大

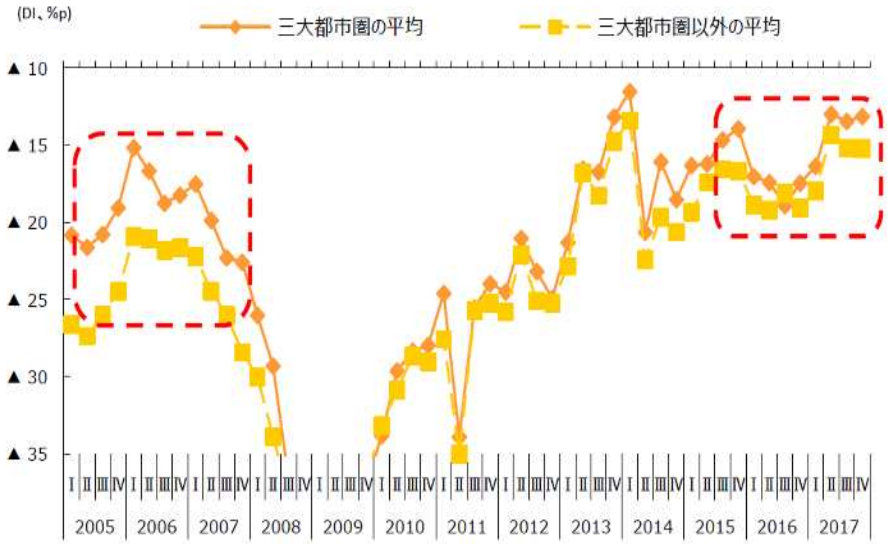


- ファンドラップを中心とした「ベース資産」と「アクティブ資産」の拡大
- シニア富裕層とのリレーション構築
- 新規開拓と未稼働顧客の稼働化

１．中期経営計画達成に向けた「預り資産」の拡大

地域の優良法人 ～ 手元資金が豊富な優良法人（オーナー、役員含む）の運用ニーズに応える

地域別の中小企業の業況判断



(出所：中小企業白書2018年版)

中小企業の経常利益は過去最高水準（中小企業白書2018年版より）にあり、地域間格差も縮小している
こうした中、手元資金が豊富な優良法人への外交提案を強化

地域金融機関 ～「プロ私募」の外交提案強化

私募投信・特金残高推移

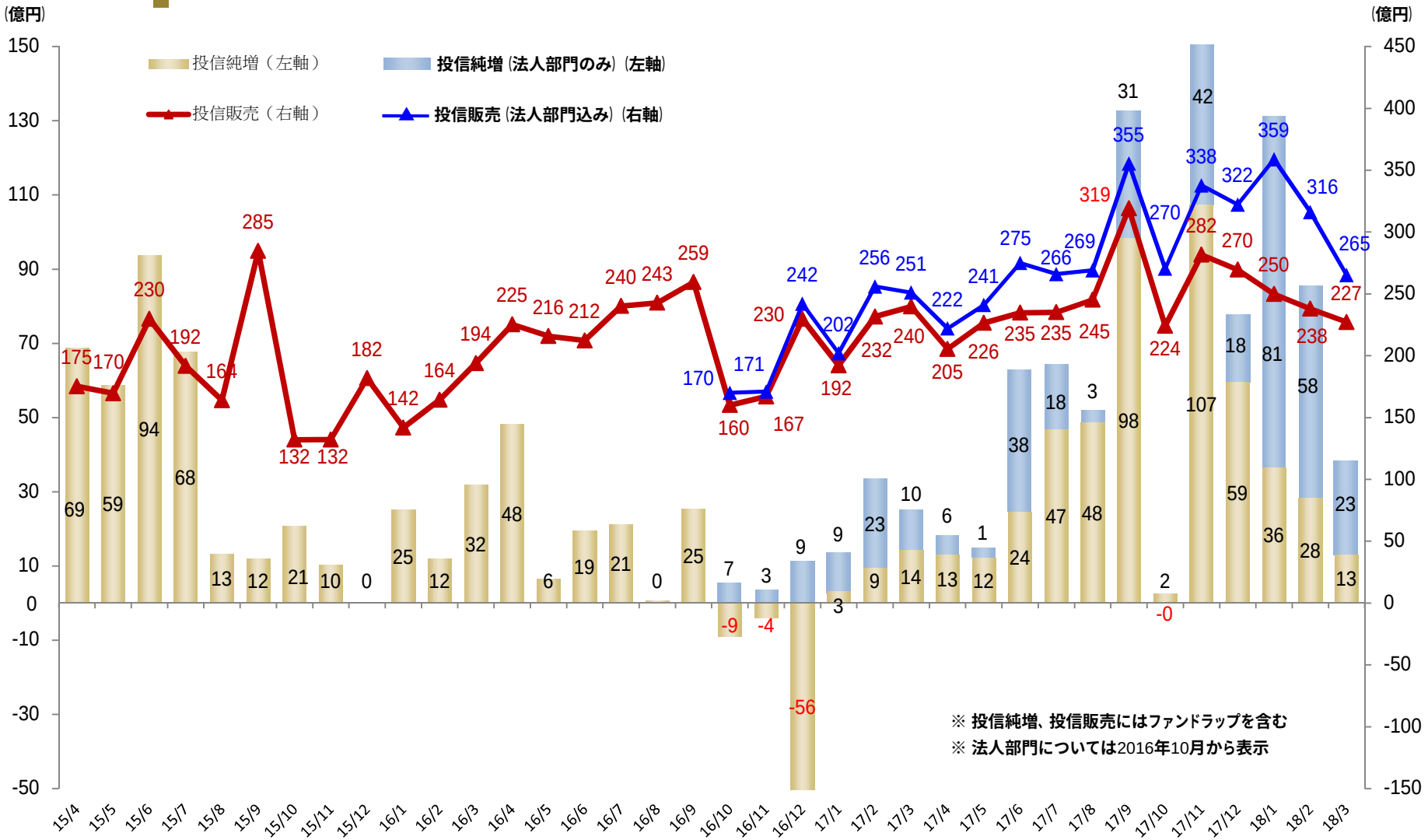
(単位：億円)

		2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
金融機関向け私募投信		102	186	589
	法人	94	173	513
	リテール	8	13	75
投資顧問付特金		38	85	154
合計		140	271	743

金融機関が国債中心の運用からエクイティを含めた運用の多様化へシフトしている中、ニーズに対応するため体制を強化

１．中期経営計画達成に向けた「預り資産」の拡大

リテール部門における投信純増（買付-売却）、投信販売の推移



「トライアングル・ピラミッド経営」によるグループの総合力を最大限に発揮する

リサーチ力

いちよし経済研究所

中小型成長株リサーチ力 国内No.1

運用力

いちよしアセットマネジメント

運用資産残高は1年で倍増

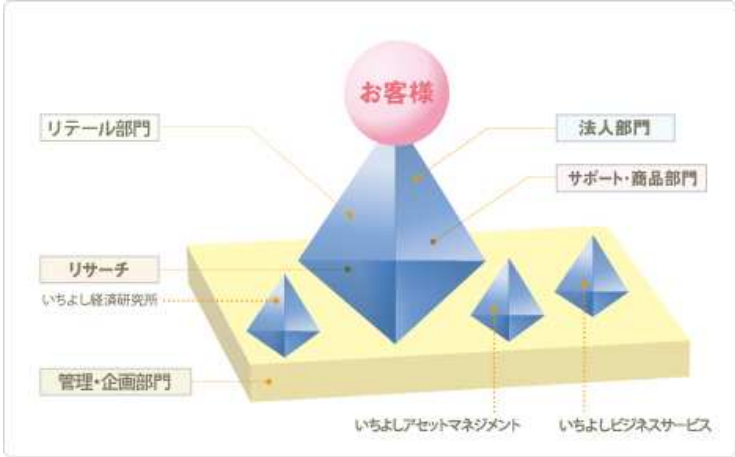
アドバイス力

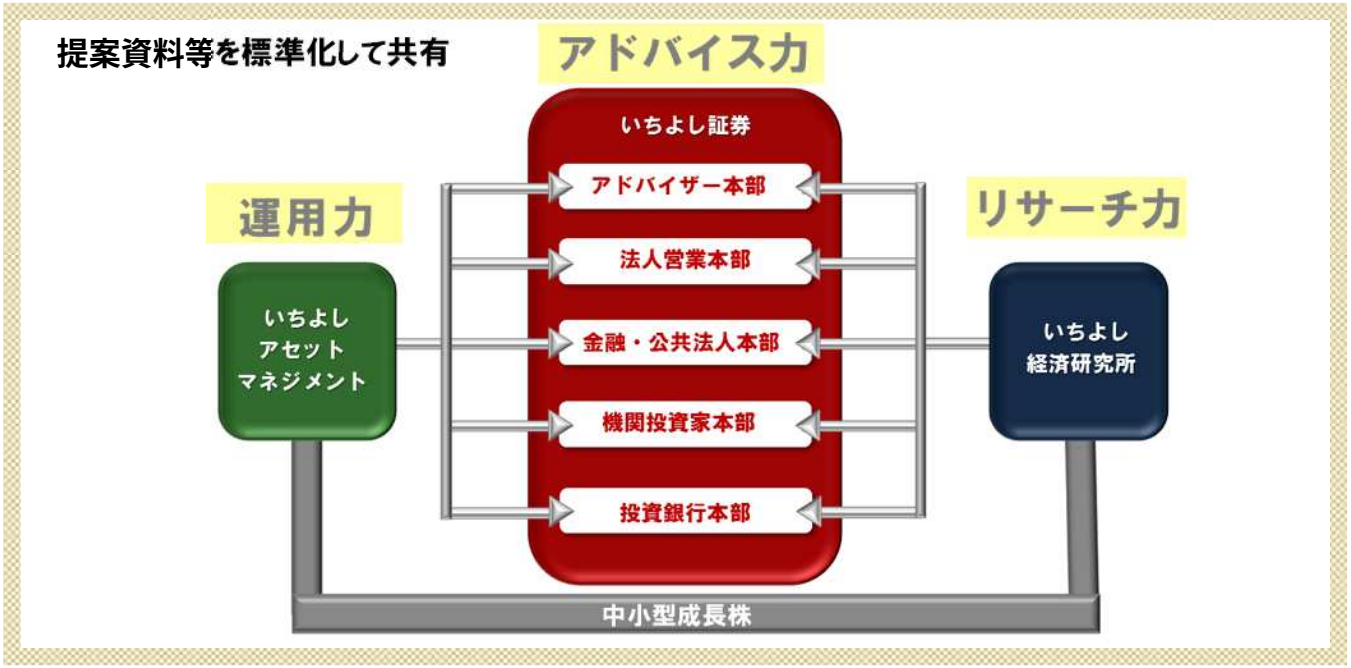
いちよし証券

アセットを積み上げるストック型のビジネスモデル
２つの特化戦略

２．「トライアングル・ピラミッド経営」によるシナジー効果

「トライアングル・ピラミッド経営」





いちよし経済研究所の「リサーチ力」

１８名のアナリストを擁し、一人あたり月間平均１４本の個別企業レポートを発行

中小型・新興市場のカバー率はトップ

（ レポート作成企業数 約720社、ユニバース企業数 約520社、レーティング企業数 約250社）

新興市場部門アクセス比率ランキングにて１４年連続第１位

2017年ベストリサーチハウス・ランキング

■新興市場部門

順位	証券会社名	アクセス比率
1	いちよし経済研究所	28.39%
2	野村證券	13.41%
3	東海東京調査センター	8.86%
4	SMBC日興証券	6.96%
5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	6.41%
6	エース経済研究所	6.29%
7	大和証券グループ	6.15%
8	みずほ証券	6.06%
9	クレディ・スイス証券	2.56%
10	岩井コスモ証券	2.52%

■1部・2部市場部門

順位	証券会社名	アクセス比率
1	野村證券	13.03%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	11.55%
3	みずほ証券	9.17%
4	SMBC日興証券	8.20%
5	モルガン・スタンレーMUFG証券	7.29%
6	JPモルガン証券	6.31%
7	シティグループ証券	5.60%
8	大和証券グループ	4.86%
9	いちよし経済研究所	4.58%
10	東海東京調査センター	4.29%

■銘柄・セクター部門

順位	証券会社名	アクセス比率
1	野村證券	15.12%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	12.18%
3	みずほ証券	8.63%
4	SMBC日興証券	7.84%
5	モルガン・スタンレーMUFG証券	7.30%
6	JPモルガン証券	6.24%
7	シティグループ証券	5.25%
8	大和証券グループ	4.80%
9	ゴールドマン・サックス証券	4.33%
10	いちよし経済研究所	4.24%

（出所：J-MONEY2018Spring）

英文レポートの充実を図り、海外投資家のニーズにも対応

いちよしアセットマネジメントの「運用力」

５名のファンドマネージャーによるボトムアップリサーチに基づいた中小型株式のアクティブ運用

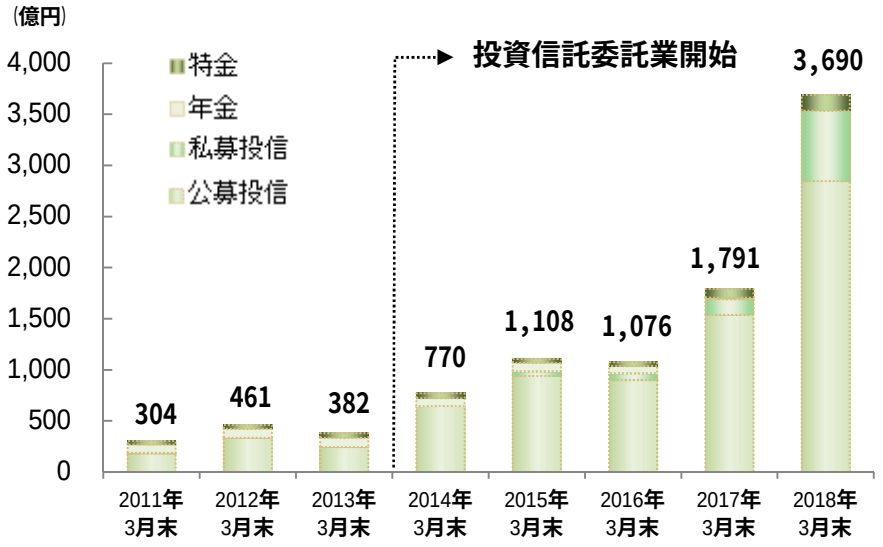
いちよし中小型成長株ファンド（愛称：あすなろ）は国内中小型株ファンドの純資産残高日本一

いちよしアセットマネジメント運用資産残高の推移

【参考】国内中小型株ﾌｧﾝﾄﾞ純資産残高上位５位

順位	ファンド名	純資産
1	いちよし中小型成長株ﾌｧﾝﾄﾞ	889億円
2	SBI中小型割安成長株ﾌｧﾝﾄﾞ	549億円
3	日本厳選中小型株ﾌｧﾝﾄﾞ	524億円
4	ﾆｯﾎﾟﾝ中小型株ﾌｧﾝﾄﾞ	386億円
5	ﾌｨﾃﾞﾘﾃｨ・日本小型株・ﾌｧﾝﾄﾞ	370億円

（投資信託協会のホームページをもとにいちよし証券作成 2018年5月14日現在）



	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
営業収益	101	137	184	280	577	1,000	1,158	2,570
当期損益	▲37	5	61	104	273	277	289	740

（単位：百万円）

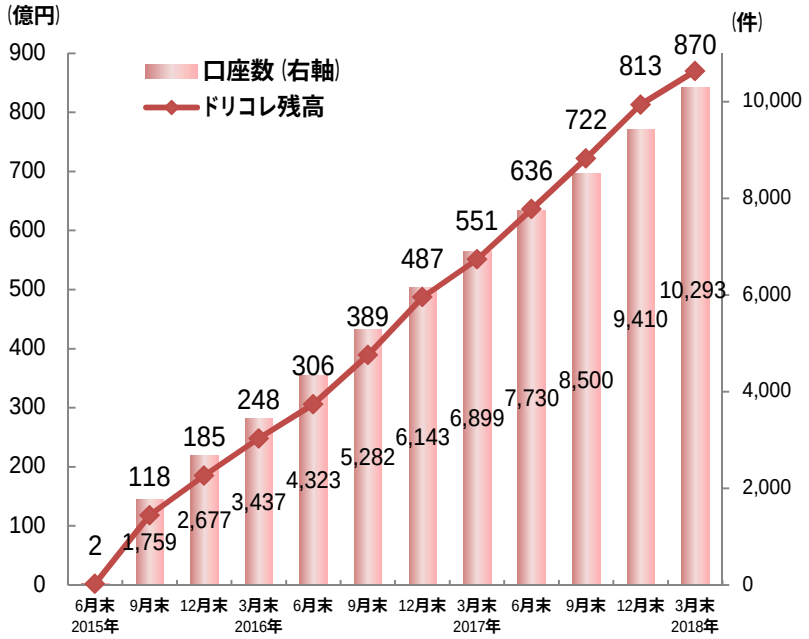
いちよし証券の「アドバイス力」

アセットを積み上げるストック型のビジネスモデル

２つの特化戦略

① 個人富裕層の金融資産運用サービス特化
② 中小型成長株と中堅企業、地域金融機関のニーズ対応サービス特化

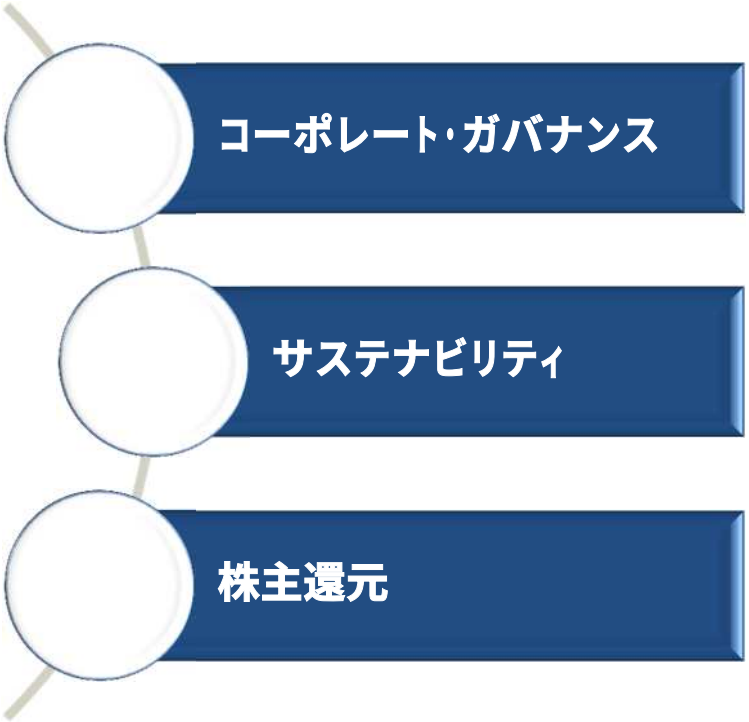
ドリーム・コレクション残高推移



あすなろ残高推移



当社は、コーポレート・ガバナンスを経営における最重要課題の一つとしています



「いちよしのクレド（企業理念）」を核とした取組み

当社の持続可能な成長のための経営上の課題に対する取組み

配当政策等の株主還元への取組み

３．コーポレート・ガバンナスの強化充実

コーポレート・ガバナンスの取組み

クレド（企業理念）

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝　誠実　勇気　迅速　継続

Long Term Good Relation

社員のために
社員の個性を尊重し人材の育成に努める

いちよし精神
情熱をもって、真摯に努力し続けます。

働きがい
チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。

お客様のために
一人、一人の『いちばん』でありたい

お客様第一
常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスを行います。

良質なサービス
社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

株主のために
持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

株主還元
事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

情報の開示
経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

社会のために
金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

社会的責任
法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

社会貢献
企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

2006年に制定されたクレドは、主要なステークホルダーについてそれぞれを尊重することを宣言するとともに具体的な行動指針を定めています

お客様のために



「売れる商品でも、売らない信念。」

20年来守り続けている個人のお客様向け商品についての原理原則

「お客様信頼向上委員会」の設置

お客様目線で業務を見直し、サービス・商品についての改善を強化・実践

社員のために

「働きやすい・やりがいのある職場」作りの取組み

金曜日定時退社、有給休暇の取得の促進、特別休暇の見直し、万一の傷病時のサポート策の導入、研修制度の充実、社員寮のリニューアル、住宅・子供手当等の見直し

「女性活躍」に関する取組み

管理職に占める女性の割合10.8% → 15%目標（2021年）
出産準備休暇等の休日休暇及び短時間勤務制度等の福利厚生の制度充実、結婚・出産・育児等を理由に退職した女性を再雇用する「リターン・トゥ・ワーク制度」の導入

サステナビリティ～持続可能な成長のために ～ 当社の社会貢献活動の一例



公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン
特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構

校舎建設プロジェクト
東アジア8ヶ国に11校建設
（1996年～2017年6月）
※一吉中旬友誼小学校含む



国際環境NGO FoE Japan

いちよしマングローブの森プロジェクト
累計植林数 約285,000本
（2009年～2017年3月）
※「気候変動被害を受けるコミュニティ支援プロジェクト」2015年より同時進行中



認定NPO法人 世界の医療団

人道医療支援プロジェクト
マラリア治療薬 約9,900人相当
（2009年～2018年3月）



公益財団法人 日本盲導犬協会

いちよし盲導犬育成プロジェクト
盲導犬 5頭がデビュー
（2005年～2018年3月）

当社の社会貢献活動はここから始まりました

中国 雲南省中旬県（うんなんしょうちゅうでんけん）
一吉中旬友誼小学校

1996年2月、中国の雲南省でマグニチュード7の大地震が発生しました。この大震災からの復興を願い小学校の建設資金を寄付しました。

いちよし盲導犬育成プロジェクト

2005年度から公益財団法人日本盲導犬協会を支援しております。
2009年度からは"いちよし盲導犬"の育成に取り組んでおり、これまでに５頭のいちよし犬が盲導犬としてデビューしています。
現在、第６号候補犬の「ダレン」が訓練中です。繊細で素直な性格をしており、盲導犬の基本的な動作「左に寄る」や「障害物をよける」が特に得意です。ダレンの応援を宜しくお願いいたします。



- 2015年に「持続可能な開発目標」(SDGs)が国連総会で採択され、当社としてサステナビリティ向上に向けた 努力と、その結果としてのESG情報の積極的な開示は、社会の一員としての重要な責務と考えます
- 本業を通じて貢献していくほか、社会貢献活動、その他、様々な取り組みを行ってまいります

３．コーポレート・ガバンナスの強化充実

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

環境

気候変動	●いちよしマングローブの森プロジェクト ●気候変動被害を受けるコミュニティ支援プロジェクト
環境保全	●環境に配慮したFSC(R)森林認証紙使用 ●植物油インクの使用 ●名刺への再生紙使用
温室効果ガスの排出削減	●冷暖房の温度の適正化 ●省エネ型商品・機器の利用 ●社有車のエコカーへの切替

ガバナンス

コーポレート・マネジメント	●コーポレート・ガバナンスの強化
リスク・マネジメント	●リスク管理体制の整備・強化 ●財務の健全性と透明性の確保 ●環境・社会リスクへの対応
コンプライアンス	●法令遵守と違反の報告 ●公正な金融取引の徹底 ●贈収賄の防止 ●マネーロンダリングの防止

社会

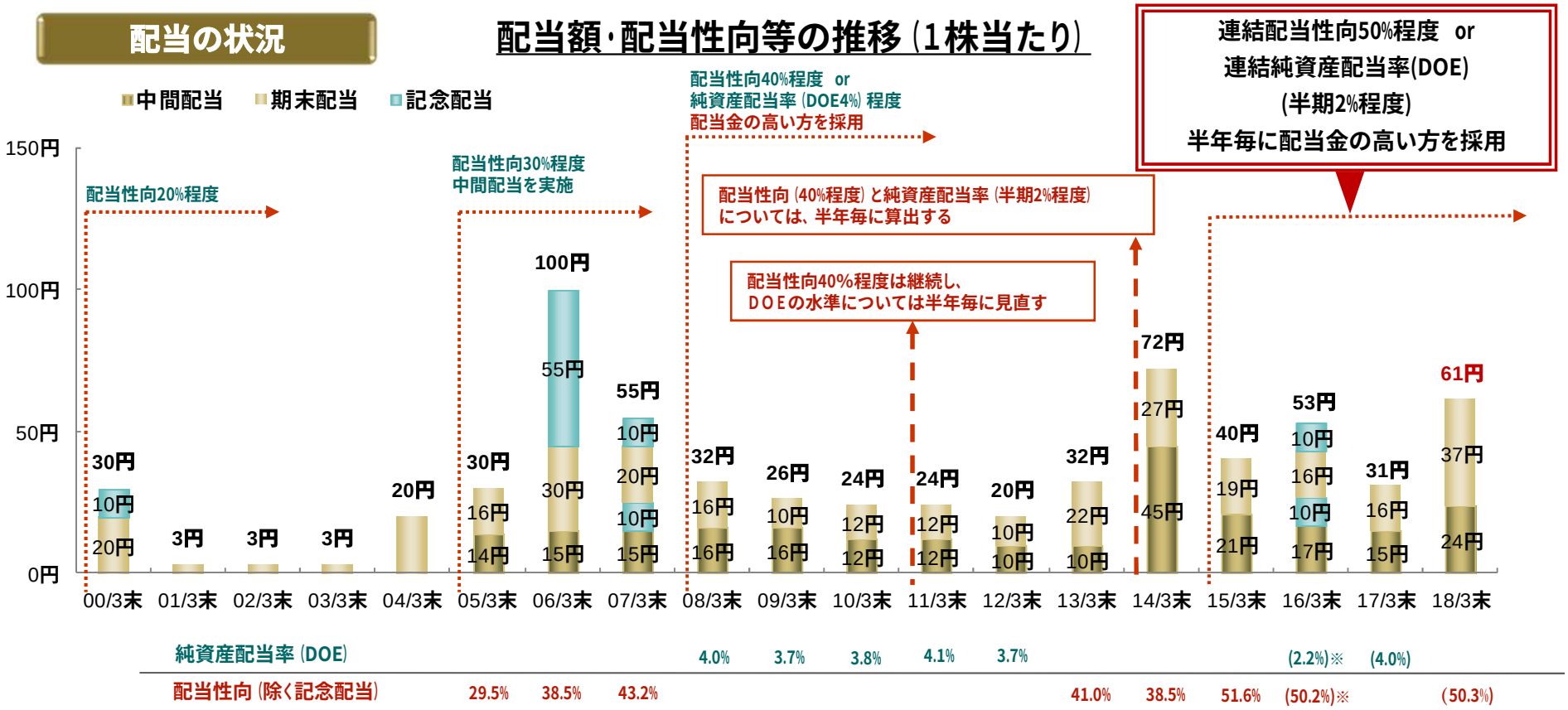
健全かつ持続可能な資本市場への貢献	●高品質な金融サービスの提供 ●環境・社会的課題に対応する商品・サービスの提供 ●顧客保護と情報セキュリティ ●金融リテラシーの向上
多様性を尊重した人材の育成	●人材育成 ●ダイバーシティ ●働きやすい職場づくり ●女性活躍推進
盲導犬の育成	●いちよし盲導犬育成プロジェクト
人道医療支援	●ラオス小児医療プロジェクト
教育支援	●校舎建設プロジェクト

- 当社の企業理念「クレド」の実現のために取り組むべき課題を整理し、SDGs等が提示する社会の課題解決に向けて、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）を選定しました
- 今後、経済価値・環境価値・社会価値の同時実現を目指す姿勢を改めて掲げ、ステークホルダーのみなさま との対話のベースとして活用してまいります

3．コーポレート・ガバンナスの強化充実

配当の状況

配当額･配当性向等の推移（1株当たり）



※16/3末については、中間配当につき配当性向、
期末配当につきDOEを採用
各々につき半期ベースにて計算した数値を記載

自己株式の消却

				消却率
1998年9月～2004年1月	自社株買い／消却	11,841,000株	@264.55円	20.2%
2008年1月～3月	自社株買い／消却	1,699,200株	@1,032.31円	3.5%
2008年11月～2009年1月	自社株買い／消却	1,957,500株	@673.03円	4.2%
	合計	15,497,700株		合計 27.9%

（参考）
2018年3月末発行済株式数　44,431,386株
（うち自己株式　1,699,220株）

JCGインデックスにおいて金融機関の第１位

・日本コーポレート・ガバナンス研究所が公表している「ＪＣＧインデックス」において総合２位、
金融機関では１位に選定

日本コーポレート・ガバナンス研究所「ＪＣＧインデックス」(2017年)

順位	前回順位	JCG Index	企業名
1	1	89	ソニー株式会社
2	2	80	いちよし証券株式会社
3	5	79	エーザイ株式会社
3	2	79	株式会社日立製作所
5	8	78	コニカミノルタ株式会社
5	2	78	オムロン株式会社
5	5	78	スミダコーポレーション株式会社
8	-	76	※※(2社)

※（　　）内は公表を希望しない会社数

JCG Index 当社の推移

年	順位	JCGindex(点)
2017年	2位	80点
2016	2	79
2015	2	78
2014	2	78
2013	2	77
2012	12	74
2011	9	74
2010	8	71
2009	18	72

出所：日本コーポレート・ガバナンス研究所
ランキングは2018年2月公表

当社の主な取組み

・ガバナンス体制
　2000年　社外取締役の導入
　2003年　現在の指名委員会等設置会社制度を導入
・株主総会
　2001年　土曜日開催
　2002年　株主懇談会開催
　2005年　会場をホテルで開催
・ＩＲ活動
　2000年　機関投資家向け、個人投資家向け説明会を開始
　2005年　海外機関投資家向け説明会を開始

当社提供番組「暦を歩く」

あなたのハートに BS朝日 5

日本には四季がある、歌がある。



歌い継がれてきた「和歌」や「俳句」、
「唱歌」や「童謡」を口ずさむと去来する、どこか懐かしい思い。
それぞれの歌に息づく日本人の心の風景を、
一篇の詩のような美しい映像でお届けします。

毎週日曜よる8時54分～ 放送中



提供 いちよし証券　語り／長谷川 勝彦　企画協力／CFA　制作／BS朝日 テレコムスタッフ

Memo

一人、一人の、『いちばん』でありたい。



いちよし証券

問い合わせ先　　いちよし証券株式会社　広報室

TEL：03-3555-6343　FAX：03-3555-2165

http://www.ichiyoshi.co.jp

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2018年3月31日現在のデータに基づき作成しております。

商号等　：いちよし証券株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会